

■ 各日の質問予定者

日	順序	氏名
12月7日(水)	1	こ ん ど う 彰 治
	2	杉 田 勝 典
	3	橋 本 洋 一
	4	牧 田 正 樹
	5	江 口 修 一
	6	山 田 忠 晴
12月8日(木)	7	小 山 よ う こ
	8	宮 川 大 樹
	9	飯 塚 義 隆
	10	高 橋 浩 輔
	11	ストラットン恵美子
	12	上 野 公 悦
12月9日(金)	13	安 田 佳 世
	14	中 土 井 か お る
	15	木 南 和 也
	16	平 良 木 哲 也
	17	池 田 尚 江
	18	滝 沢 一 成
12月12日(月)	19	栗 田 英 明
	20	高 山 ゆ う 子
	21	丸 山 章
	22	渡 邊 隆
	23	宮 越 馨
	24	橋 爪 法 一

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

順位	質 問 事 項
氏名	
1	<p>1 市長の政治姿勢について</p>
<p>こ ん ど う 彰 治</p>	<p>(1) 市長が就任され1年が経過した。いくつかの公約が遅滞している。これでは市民との約束である公約が反故にされるのではないかと危惧する。そこで次の公約などについて市長の真意を聞きたい。</p> <p>ア 令和4年11月11日の記者会見で、12月定例会において副市長4人制を提案しないとされたが、真意を聞きたい。報道では「議会や市民に説明してきたが、理解をいただいている。苦慮の末に判断した」としているが、市民や議会に責任を転嫁しているように思うが如何か。</p> <p>イ 副市長4人制に伴って、政策アドバイザー制度も導入の予定だったが、この制度は、今後どのように提案され、導入していくつもりか。</p> <p>ウ 以前から指摘している寺町地区の通年観光については、どのように検討されてきているのか。また、スケジュールについても聞きたい。</p> <p>エ 「しがらみのない政治」をキャッチフレーズとしていたが、果たしてこの公約は守られてきているのか。また、「しがらみのない政治」は、時として良いことも悪いこともある。副市長4人制など重要政策を提案するに当たり、議会等と質の高いコミュニケーションを図ることは重要であるが、「しがらみのない政治」を徹底するあまり、コミュニケーションも希薄になっていると思うが如何か。</p> <p>オ 政治家としての資質について聞く。市長選挙時に宮越氏と取り交わした「こども年金」導入などを含んだ政策協定は、すべて反故にされていると言っても過言ではない。政策協定の調印に立ち会った一人として大変危惧している。市長は、政治家としてどのように判断されているのか聞きたい。また、今後も政策提言がなされた場合は、どのように判断されていくのかについても聞きたい。</p> <p>2 上越教育大学周辺への新駅設置について</p> <p>(1) 以前から幾度となく質問しているが、この新駅設置場所においては、ほ場整備の計画が進行していることを踏まえ、次の事項について聞きたい。</p> <p>ア 以前、えちごトキめき鉄道株式会社が行った「新駅整備可能性等調査」において、乗降客数や経済性を勘案すると、この地域が新駅設置に最もふさわしいと評価された。上越教育大学や地域発展のためにも新駅設置が望ましいと思うが、ほ場整備の計画も進んでいることから、その進捗状況を踏まえ、市長の考えはどうか。</p> <p>イ 新駅設置について鉄道運行会社であるえちごトキめき鉄道株式会社とはこの間、話し合った経緯はあるのか。また、その時にどのような話をしたのか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
2	<p>1 掲げた公約の実現について</p> <p>(1) 市長就任から1年が経過したが、現在までの成果と公約の実現性についてどのように捉えているか。</p>
杉田勝典	<p>2 全国旅行支援による当市の観光の現状について</p> <p>(1) 全国旅行支援が令和4年10月11日から始まったが、2か月が経過した中で、当市内における宿泊や飲食を含む観光関連事業者の実態などをどう捉えているか。</p> <p>3 労働者協同組合の積極的な設立後押しについて</p> <p>(1) 令和4年10月1日の労働者協同組合法の施行により労働者協同組合が設立可能となり、地域福祉の向上や地域の課題解決に向け、介護や子育て、農産物加工品販売等の幅広い分野で多様な人材が主体的に働ける場の創出が期待される。当市でも、労働者協同組合の設立について積極的な推進が図れないか。</p> <p>4 自転車通行の課題などについて</p> <p>(1) 自転車加害者になる事故が相次ぐ中、警視庁や警察庁では様々な角度から取り締まりを強化している。一方で、市道に自転車レーンが設置されている所はほとんどない。高齢者が、安全に自転車で通行できるように市道の自転車レーンの設置を考えていないか。また、高齢者向けの安全対策の現状について聞きたい。</p> <p>5 市内企業における働き方改革等の現状について</p> <p>(1) 市内企業でも、残業ゼロや男性育休100%、リモート経営、女性活躍などの働き方改革に積極的に取り組む企業もあると思うが、その実態をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 市は、市内企業へ働き方改革を波及させるため、どのように取り組んでいく考えか。</p> <p>6 株式会社よしかわ杜氏の郷の民間譲渡について</p> <p>(1) 株式会社よしかわ杜氏の郷の株式譲渡の優先交渉先として、株式会社源建設を選定したが、選定検討の経緯や決定の根拠、譲渡によるメリットなどをどう捉え、選定したのか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
3	<p>1 中川市政1年間の評価と課題について</p> <p>(1) 中川市長就任から1年が経過したが、これまでの市政運営についての評価と課題について聞きたい。</p> <p>(2) 市長の施策に対して様々な意見が寄せられているが、以下の施策に対して、市民の理解がどの程度得られているのか、市長の認識について聞きたい。</p> <p>ア 通年観光</p> <p>イ 地域自治推進</p>
橋本洋一	<p>2 副市長4人制と政策アドバイザーについて</p> <p>(1) 副市長4人制の提案見送りの理由と検討経緯について聞きたい。また、政策アドバイザーとの関連はどうか。</p> <p>(2) 政策諮問委員から政策アドバイザーへ名称変更した理由並びに現時点における選任予定数、具体的な業務内容、報酬及び選任後の組織体制について聞きたい。</p> <p>3 児童虐待防止の啓発について</p> <p>(1) 児童虐待防止推進月間の取組状況、評価と課題について聞きたい。</p> <p>(2) 映画「189」について、市民が自主上映を目指す活動に取り組んでいるが、市の認識と方針について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
4	<p>1 産じょく期等の母子に対する支援について</p> <p>(1) ファミリーヘルプ保育園での預かりは、生後8週間から就学前の乳幼児が対象であるが、生後8週未満の乳児の預かりも必要である。市は、生後8週未満の乳児を対象とした預かり事業を行うことができないか。また、民間で行っている生後8週未満の乳児の預かり事業に対する支援を行う考えはないか。</p> <p>(2) 産前・産後ヘルパー派遣事業について、次の点を聞きたい。</p> <p>ア 申請時期が「利用開始の1か月前までを目安」となっており、利用しにくいとの声を聞いているが、利用しやすく改善できないか。</p> <p>イ 多胎児の場合の上限の拡充が必要ではないか。</p> <p>ウ 事業者の関係で派遣が難しい地域があると聞いているが、改善に向けてどう取り組んでいくか。</p>
牧田正樹	<p>2 道路等の維持管理事業の推進について</p> <p>(1) 道路の維持修繕(除草を含む)・グリーンライン・指導停止線・車道外側線などについては、多くの要望が出されていると思われるが、未実施の箇所が多い。交通事故防止や施設の安全確保のため、予算を確保し、実施すべきではないか。あわせて、これらの事業への補助率の増を国や県に働きかけるべきではないか。</p> <p>3 市職員の時間外勤務時間の縮減について</p> <p>(1) 過去3年間における、時間外勤務時間数が月45時間超と月100時間以上の職員数はどうか。</p> <p>(2) 時間外勤務の縮減に向けてどのような取組をしてきたか。</p> <p>(3) 月80時間超の職員に対する産業医との面談の実績と健康管理の状況はどうか。</p> <p>(4) 長時間勤務の増加による中途退職者の状況を把握しているか。</p> <p>4 小学校の農業体験について</p> <p>(1) 市内小学校の農業体験の実施状況、成果と課題についてどのように把握しているか。</p> <p>(2) 農業の大規模化や農業指導者の高齢化などで、指導者の後継不足や農機具の調達に苦勞していると聞く。今後も農業体験を継続していくため、一定の仕組みづくりが必要ではないか。</p> <p>5 吹上遺跡と釜蓋遺跡の現状と活用について</p> <p>(1) 斐太遺跡群は、弥生時代から古墳時代までにかけて存在した拠点集落で、この地域の成り立ちや拠点集落の移り変わりが分かる非常に貴重な存在である。この遺跡のうち、吹上遺跡と釜蓋遺跡は上越妙高駅に近接しており、通年観光の重要な資源であると考えられる。これらの遺跡の現状と今後の活用について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
5	<p>1 人事改革について</p>
江口修一	<p>(1) 副市長4人制の提案を先送りしたことについて、市長の掲げている公約達成に具体的な影響はあるか。</p> <p>(2) 政策アドバイザー制度は、令和5年度からどのような形でスタートするのか。</p> <p>(3) 職員のやる気を喚起するための仕組みづくりを大事にするべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 若手職員の専門性とリーダーシップを育てる異動や適切な人材を選出する昇任の仕組みをどのように考えているのか。また、昇任に意欲を持てる給料表にすべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) これからは女性管理職の比率を高めるべきと思うがどうか。</p> <p>2 第7次総合計画について</p> <p>(1) SDGsの推進について、問題意識を高め、取り組む必要があると思うがどうか。また、民間や市民と協同して、SDGsを推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 今後、総合計画の進捗を把握するため、「行政評価」として、外部からの評価(第三者評価)も取り入れ、議会や市民に見える形で評価結果を公表すべきと考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
6	<p>1 中小企業向け支援制度の利用状況について</p> <p>(1) コロナ禍以降の事業者支援に関して、主な制度の利用実績を聞きたい。また、支援から取り残された事業者はいないか見解を聞きたい。</p>
山田忠晴	<p>2 市内の悩みを抱える若者の現状や対策について</p> <p>(1) 若者は、市へ生活の困難さを相談することに抵抗があると聞く。悩みを抱えている若者の現状をどう把握し、講じる対策をどのように考えているか。</p> <p>(2) 若者の中には、窓口相談に来たり、電話で相談したりすることを嫌がる人もいる。相談しやすい環境を整えるため、SNSなどを活用してはどうか。</p> <p>3 クールジャパンEXPOの成果について</p> <p>(1) 市長は、クールジャパンEXPOの会場で、鎧兜姿で当市の観光や特産品のPRをしたとのことであるが、発信の成果をどのように捉えているか。</p> <p>4 母子手帳アプリ「母子モ」の内容充実について</p> <p>(1) 母子手帳アプリの「母子モ」の充実により、今後どのような利便性向上があるのか。また、母子健康手帳の完全デジタル化に向け、どのような課題が考えられるか。</p> <p>5 「医療的ケア児」の現状やてんかん治療薬「ブコラム」の使用について</p> <p>(1) たんの吸引や人工呼吸器などが欠かせない医療的ケア児は、全国で約2万人を上回るが、当市内の市立小・中学校の医療的ケア児の現状と課題をどう捉えているか。また、通学時の付き添いなど、保護者の負担軽減を図るため、通学時においても看護師の配置が必要と考えるが見解を聞きたい。</p> <p>(2) てんかん治療薬「ブコラム」について、令和4年7月から学校での使用が可能になったが、教職員が児童生徒へ投与する実態や課題等について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
7	<p>1 特殊詐欺対策について</p>
<p>小 山 よ う こ</p>	<p>(1) 当市における過去3年間の特殊詐欺被害の種類、件数及び被害額について聞きたい。</p> <p>(2) 令和3年中、上越警察署に届けられた特殊詐欺の被害は11件、被害額3,623万円であった。警告メッセージ付き通話録音装置を無償貸与してきたが、機器の普及は十分ではないと感じる。特殊詐欺による被害をなくすためにも特殊詐欺対策機器の普及や啓発活動等の拡充を更に推進すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 警察と情報を共有し、連携しながら特殊詐欺の市民啓発に取り組むことは、被害の防止に効果的であると考えている。当市では、警察とどのように連携して取り組んでいるのか聞きたい。</p> <p>2 中学校の部活動指導員について</p> <p>(1) 令和2年度より部活動指導員を導入しているが、これまでの成果と課題及び今後の取組方針について聞きたい。</p> <p>(2) 部活動指導員について、令和4年度は11校28人の配置の要望があったが、8校10人の確保しかできなかつたと聞いている。当市では、部活動指導員をどのように募集しているか聞きたい。また、各学校の要望に応えるためにも中学校における部活動指導員の増員を前向きに考えるべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 部活動指導員は原則として報酬、派遣回数、時間等が決められているが、場合によっては派遣回数が増えてしまう場合もあると聞く。このような場合、どのように対応するのか聞きたい。</p> <p>(4) 今後、部活動が地域移行した場合、移行前に指導していた部活動指導員の処遇をどのように考えているのか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
8	<p>1 妙高市・糸魚川市との広域連携について</p>
宮川大樹	<p>(1) 上越地域かつ隣接市である妙高市と糸魚川市との連携は、広域観光や医療など様々な分野で重要であるが、次の点について聞きたい。</p> <p>ア 3市議会においては、毎年、国や県に対し、共通する課題についての要望活動に共同で取り組んでいるが、3市においても同様に共同で要望活動を行っているのか。</p> <p>イ 広域観光を進めるに当たっては、どのような課題があり、どのような施策を進めているのか。</p> <p>ウ 観光大使は、全国に地域を知ってもらう活動として重要であり、妙高市と糸魚川市も観光大使を置いている。当市も観光大使を置く考えはないか。また、3市共同で広域観光大使を設置するよう、妙高市と糸魚川市に働きかける考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
9	<p>1 保倉川放水路整備計画の現状と課題</p> <p>(1) 国は、令和3年3月の概略ルート決定に当たり、地元説明会を開催するなど地元意見の集約に努めていた。その中で市に関する意見はどのようなものか。また、その対応はどのように考えているか。</p> <p>(2) 国の保倉川放水路整備計画の事業化に向けた進捗状況と課題を聞きたい。また、直近に開催された関川流域委員会の内容と結果を聞きたい。</p>
飯塚義隆	<p>2 副市長の職務分担について</p> <p>(1) 村山前市長は、野口前副市長就任時、市長が公約に掲げた大規模プロジェクトで、特に推進が必要な案件、保倉川放水路等7件を野口副市長の担当事務とした。その多くは完了し、成果は多大であった。令和4年12月定例会に副市長4人制の提案を見送る中、市長就任から1年が経過した。現行の部局を事務分担に列挙した副市長の職務に関する規程に、引き続き推進が必要な保倉川放水路等の重要案件を明記し、事業推進してはどうか。</p> <p>3 面川水門への排水ポンプの設置について</p> <p>(1) 戸野目川の支流である面川は、豪雨時に戸野目川の水位上昇に伴い、樋門を閉じ国の排水ポンプ車を要請し、排水している。面川水門の管理者である県に対して強制排水ポンプの設置を強く求めるべきであるが、どのように考えているか。</p> <p>4 ドローン等の最先端の技術を活用した地域の活性化について</p> <p>(1) 人口減少社会の到来により、中山間地域では過疎化が進み、様々な行政課題が生じている。長野県伊那市では、最先端の技術を活用し、ドローンによる日常品の配送、人工知能A Iを活用したタクシー配車などを行っている。また、妙高市ではスマートC i t y推進室を新設し、ドローンの活用による行政課題の解決と、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでいる。当市も最先端の技術を活用した取組を推進する考えはないか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
10	<p>1 町内会事務委託料について</p> <p>(1) 令和2年度から町内会事務委託料が見直されたが、これまでの間、町内会から町内会事務委託料に関して、どのような意見を聞いているか。</p> <p>(2) これまで地域コミュニティの維持に対して町内会の果たしてきた役割は大きいですが、役員などの担い手不足等、地域コミュニティの大切な基盤である町内会の衰退も懸念される。その中で、本来の業務に加え、市の事務委託に基づき町内会長を中心に行政文書の配布から様々な委員の人選まで、行政を補助する役割も多く担っており、負担は大きいと考える。見直し後3年が経過するが、町内会の現状や意見等を踏まえ、改めて事務委託料に反映する考えはないか。</p>
高橋浩輔	<p>2 三世代同居・近居に対する支援策について</p> <p>(1) 令和4年4月に企画政策課から出された「上越市の未来を考える基礎資料」によると、三世代世帯の割合が平成12年には23.3%であったのに対し、令和2年には11.3%と急速に減少している。この現状をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 三世代同居・近居を支援する制度として、福島県いわき市では住宅新築・取得の経費を補助している。当市においても同様の支援策を講ずる考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
11	<p>1 新たな組織体制等の検討について</p> <p>(1) 妊娠・出産、子育てから学校教育へと子どもの成長過程に合わせた組織に改編することは、国の動向にも沿い、円滑な行政運営にも有効であると考えますが、子育てと教育の部署を統合する考えはないか。</p> <p>(2) 外国人市民が増加している現状を踏まえ、市政の総合的な窓口となる「外国人市民支援課」を設置してはどうか。</p>
ストラットン恵美子	<p>2 上越市第7次総合計画について</p> <p>(1) 多様化社会の中で、個々で感じる幸せの価値観には違いがあることから、上越市ならではの快適で幸せな暮らしを実現するためには、第7次総合計画の達成度などの分析において、Well-beingを測定し、把握することが有効と考えるが、取り組む考えはあるか。</p> <p>3 ハラスメント防止対策について</p> <p>(1) 市職員のハラスメントが起こった場合の対応措置は、どのように講じているのか。また、ハラスメントの予防対策も必要と考えるが、具体的な取組を聞きたい。</p> <p>4 部活動の地域移行について</p> <p>(1) 部活動の地域移行に関する推進委員会会議での話し合いから、方向性や令和5年度に向けた取組はまとまったのか現状を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
12	<p>1 厚生労働省が示した介護保険制度改定に向けた論点について</p>
上野公悦	<p>(1) 厚生労働省は、保険制度改定に向け議論している社会保障審議会(厚生労働相の諮問機関)の部会で、制度改定の7点にわたる見直しの論点を正式に提示した。論点は、①介護保険サービスの利用料負担(2~3割)の対象拡大、②要介護1及び2の訪問介護などを保険給付から外す、③ケアプランの有料化、④老健施設などの相部屋(多床室)の有料化、⑤保険料の納付年齢の引き下げと利用年齢の引き下げ、⑥補足給付の資産要件に不動産を追加する、⑦いわゆる「高所得者」の保険料引き上げである。そこで以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 厚生労働省が示したこれら7項目について、どのように考えるか率直に聞きたい。</p> <p>イ 介護関係団体などから改定を危惧する動きが強まっている。当市の介護関連事業所・関連団体、利用者などから意見要望を広く聴取するべきと思うがどうか。</p> <p>ウ その上で誰もが安心して介護保険を利用できる、介護事業者と介護労働従事者が高度で安心なサービスを持続的に提供できる介護保険制度を維持するために、市長は国に対してしかるべき行動をとるべきであるし、国が反対を押し切って制度改定を強行した場合には、市独自の対策をとるべきだと思うが考えを聞きたい。</p> <p>2 消費税の「インボイス」(適格請求書)について</p> <p>(1) 令和5年10月から消費税の「インボイス」が導入されることになっているが、小規模事業者などから不安と批判の声が上がっている。新型コロナウイルス感染症の出口の見えない長期化などで、苦境に立つ事業者の倒産や廃業が相次ぐことが予想されるが、次の点について聞きたい。</p> <p>ア 国民の不安を深刻に受け止め導入をやめるべきと思うが、市長はどう考えるか。</p> <p>イ 行政としても小規模事業者の声をしっかりと聴き、適切な支援対応を行うべきだが、市としてどのような対応が考えられるか。</p> <p>3 副市長4人制について</p> <p>(1) 市長は、市政の重要課題の実現のために4人の副市長と政策アドバイザーを政策推進のための両輪として位置付けていたが、市民の理解が得られないとして政策アドバイザーは検討継続となり、副市長の4人制は令和4年12月定例会での提案は見送った。しかし、任期中には必ず実現するとの強い意欲を示している。そこで、以下の点について率直に聞きたい。</p> <p>ア 市長の考える政策推進、特に9つのプロジェクトの進捗には、副市長の4人体制が必要との考えは変わらないのか。また、その根拠は何か。</p>

	<p>イ 現在の部長を中心とした部局、それを統括する2人の副市長、縦櫛横櫛をしっかりと支える理事の体制では、市政の重要課題の実現はできないのか。</p> <p>ウ 市民の理解が得られていないのではなく、市民から理解を得るための説明が不十分なのか、または、4人制提案そのものに無理があるのではないか。市長就任1年を経過する中で、再提案あるいは提案取り下げの可能性、スケジュールも含めて、改めて市長の思いを聞きたい。</p>
<p>順位 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>13</p>	<p>1 観光に関する取組について</p>
<p>安 田 佳 世</p>	<p>(1) 通年観光による観光振興について、どのような姿を想定して各種施策に取り組んでいくのか。季節ごとのイベントが年間を通して行われるような観光振興よりも、年間を通して楽しめる観光拠点をつくることに重点を置く考えか。</p> <p>(2) 通年観光に向けた集中的な取組として高田・直江津・春日山の3本柱の整備を進めるとしているが、併せて次の内容についても特に重要であると考えている。取組の状況と今後の方向性を聞きたい。</p> <p>ア 来訪者を受け入れる人づくり</p> <p>イ 3本柱だけに頼らない他の魅力的な資源の磨き上げ</p> <p>ウ 魅力的な資源を組み合わせた観光ルートづくり</p> <p>エ 宿泊場所の整備</p> <p>オ 観光が多様化する中での観光客層のターゲットを絞った売り込み</p> <p>(3) 観光振興のためには、妙高市・糸魚川市・佐渡市を始めとする近隣自治体との連携が不可欠である。上越市が観光において広域での連携を行うことによる、観光客へのメリットと周辺自治体へのメリットをどのように考えているか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
14	<p>1 身寄りがない人への支援について</p> <p>(1) 近年、家族や親族がいない人や、連絡がつかない人などの身寄りがない人が老後の不安を抱えているという声を聞くことが多い。そのような人は、医療の同意や身元引受などの法令等のルールがないため、入院や入所、福祉サービス利用などの際に困ることがある。このような不安を抱えている人への支援策について聞きたい。</p> <p>(2) 魚沼市は、令和2年に「身寄りのない人への支援に関するガイドライン」を策定した。ガイドラインによって地域共通のルールを示すことができ、身寄りのない人でもスムーズに医療や介護等が受けられるようになり、さらには、その人に関わる支援者の不安や負担を軽減できると考える。当市でも同様のガイドラインを策定する考えはないか。</p>
中 土 井 か お る	<p>2 学校へ登校できない子どもへの支援について</p> <p>(1) 様々な理由で学校へ登校できない子どもが増えているが、当市における現状はどうか。また、そのような問題を抱えた子どもや家族等への支援は関係機関や複数の職種の連携による取組が重要と考えるが、現状について聞きたい。</p> <p>(2) 当市においてもフリースクール等の多様な学びの場が増えてきたように思うが、学校に登校できないために不安を抱える子どもや保護者に必要な情報が確実に伝わるように、どのような取組を進めているのか。</p> <p>3 市民の歌について</p> <p>(1) 上越市民の歌は、合併を機に一体感を醸成するため、一般公募により平成18年に「このふるさとを」という新しい歌が誕生した。しかし、15年以上経つが、あまり市民に浸透していないと感じる。地域に対する愛着を育み、若者が帰ってきたくなるようなまちの実現を目指すためにも、子どもの時期から市民の歌とふれあう機会を増やし、更に親世代にも親しんでもらうことが必要ではないかと考えるがいかがか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
15	<p>1 令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸に向けた取組について</p>
木南和也	<p>(1) 令和6年春の敦賀延伸により北陸新幹線が注目され、上越地域へ更なる誘客も期待できると考えられる。市として、それを好機と捉え、ビジネス客や観光客の玄関口となる上越妙高駅周辺の整備はもとより、市全体としての取組を加速させるべきであると考えますが、どのような方策に取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 令和3年3月定例会で、村山前市長はかがやきの停車に関して「引き続き沿線市や県と連携し、利用促進や要望等の取組を重ねる中で、かがやき等の停車の実現を目指してまいります。」と答弁した。今後、JRは令和6年春の敦賀延伸による大規模なダイヤの見直しが予想され、市にとってかがやき停車を実現するチャンスと考えるが、今後の取組をどのように計画・実行し、かがやき停車を実現していくのか聞きたい。</p> <p>2 直江津港の振興について</p> <p>(1) 新潟県議会令和4年9月定例会の一般質問の中で、直江津港ターミナルビルの一部が佐渡汽船から県に返還されたことが明らかになった。県は、今後の利用については、「地域のニーズを伺いながら積極的に取り組む」と述べたが、当該施設が立地する市として、今後の利活用について、積極的に関わっていくべきと考えるがどうか。また、ターミナルを含めた周辺施設を活用しながら、直江津港の振興をどのように考えていくのか、考えを聞きたい。</p> <p>3 道の駅うみてらす名立について</p> <p>(1) 日本政策投資銀行は、「道の駅がもたらす持続可能な地域」の中で、道の駅の官民による連携は、「自治体が、道の駅の活動を通して達成したい成果を明確にし、官民の認識を一致させることが民間の力を最大限に引き出すポイント」と述べているが、指定管理者が市の第三セクターから民営化した「うみてらす名立」について、市として達成したい成果をどのように設定しているのか聞きたい。</p> <p>(2) 道の駅は、地域経済の拡大や地域における社会福祉の増進などにも資する施設であり、今後とも、こうした機能が十分に発揮できるように、施設の利便性や快適性を維持・向上させていく必要があると考える。建設から20年以上が経過し、老朽化がみられるため、改装や建て替えに向けた検討を進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>4 直江津屋台会館の今後について</p> <p>(1) 今夏に開催された「なおえつうみまちアート2022」でも活用された直江津屋台会館の今後の利活用について、これまでの議会を含め、様々な場面で議論されてきた経緯がある。市政も中川市長に変わり、今後の方針について、どのような利活用をしていくのかも含め、考えを聞きたい。</p>

	<p>5 廃校施設などの利活用について</p> <p>(1) 令和4年度に直江津小学校へ統合した旧古城小学校の校舎利用に関して、地元町内会が中心となり「旧古城小学校利活用検討委員会」が発足した。今後、用地及び施設等の有効かつ持続可能な活用について、勉強会を開いていくとのことである。このように町内会等が積極的に廃校施設などの利活用について勉強会を開いていくことについて、市としてできる限りの情報提供や助言をしていくことが重要であると考えているが、考えを聞きたい。</p>
<p>順位 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>16 平 良 木 哲 也</p>	<p>1 緊急の子育て支援策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、物価が高騰している中、子育て支援の強化として、次の3つのゼロを実現すべきと考えるがどうか。</p> <p>ア 給食費ゼロ (幼稚園・保育園、小中学校の給食費完全無償化)</p> <p>イ 子どもの医療費ゼロ (18歳までの子ども医療費完全無料化)</p> <p>ウ 子どもの国保税ゼロ (18歳までの子どもの均等割額撤廃)</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行への対応について</p> <p>(1) 新潟県が新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え実施するとした11の対応について、市としてはどう評価し、どう連携して取り組んでいく考えか。</p> <p>(2) 発熱者が発熱外来を受診できるための方策はどうなっているか。抜本的な強化が必要ではないか。</p> <p>(3) 発熱者の相談体制の強化が必要ではないか。24時間つながる相談体制はどうなっているか。</p> <p>(4) 発熱者が迅速に検査を受けられるよう次の点について伺いたい。</p> <p>ア 県による「有症状者への抗原検査キット配布」は手元に届くまで時間がかかるが、治療の時期を逸することにはならないか。また、希望者全員へ確実に配布されるのかといった点について見解を聞きたい。</p> <p>イ 検査キットの購入費用補助制度の創設が、当市でも必要ではないか。</p> <p>(5) 基礎疾患のない65歳未満の市民は、症状があっても医療機関の受診を避けて自分で検査をするよう呼びかけられているが、問題はないのか。重症化する前に治療できる体制が必要ではないのか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
17	<p>1 上杉謙信公を顕彰する各種記念事業について</p>
池田尚江	<p>(1) 謙信公祭が2025年に100回を迎え、また、2028年には謙信公没後450年、その後2030年には生誕500年と、それぞれ記念事業が予定されていると思われるが、市としてどのような企画を検討しているのか。</p> <p>(2) 謙信公の居城であった春日山城を守る支城・砦は、県内で約1,000箇所以上、そのうち上越地方で約160箇所と、春日山城の守りは日本随一と言われている。春日山城は、支城を支えた領民の苦勞、そして、現在も地域の方々によって、守り引き継がれている「支城あつての春日山城」である。これらの経緯から、上杉謙信公に係るこれからの記念事業に、この支城群を外すことはできないものと考えるが、この機会に春日山城支城群を埋もれることなく世に出していく考えはあるか。</p> <p>2 上越3市連携について</p> <p>(1) 糸魚川市長は、令和4年10月28日の定例記者懇談会で、今後、上越、妙高両市長と意見交換し、上越3市の連携を深めたい意向を明らかにした。これは、私の政策目標である経済、行政を含めた3市の連携を描いていたものと一致し共感した。このような糸魚川市長の友好的な呼びかけに対し、市長は、これからの上越(上越後(かみえちご))の発展に向け、どのような考えをもっているか。また、3市の中で、どのようにリーダーシップを発揮する考えか。</p> <p>3 副市長4人制について</p> <p>(1) 記者会見等により市長の考えを知ることができた。令和3年12月定例会において、議会はボールを市長に返したと認識しているが、なぜ令和4年12月定例会へ提案しなかったのか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
18	<p>1 副市長4人制と政策アドバイザーに関して</p>
滝沢一成	<p>(1) 次の事項について、バックキャストイング手法、または、A s I s , T o B eで説明してほしい。</p> <p>ア なぜ副市長4人制に拘るのか。現行の2人体制ではいけないと考える理由あるいは課題は何か。4人制で何が実現できるのか。</p> <p>イ なぜ政策アドバイザーの新設が必要と考えるのか。行政の根幹に係る政策形成に外部の専門家等を入れなくてはならない課題が現在の組織にあるのか。</p> <p>2 「雪と生きる」ということについて</p> <p>(1) 第7次総合計画案に「上越市ならでは」という言葉が出てくる。「ならでは」とは「他にない」を意味する。滝沢が考える上越の他にないことは「人々が多く住む都市(あるいは人口集積地)×平地から山間地まである市域×世界でも稀な豪雪」だ。「雪と生きるまち 上越」を追求することが、上越しかない魅力を創成すると考えるがどうか。</p> <p>(2) 上越市における克雪利雪施策について、バックキャストイング手法または、A s I s , T o B eで説明してほしい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
19	<p>1 中川市長の今後の取組について</p>
栗田英明	<p>(1) 副市長4人制について、令和4年12月定例会での提案は見送るが令和5年度以降の提案もあり得るとしている。その必要性について、議会や市民の理解を得られるような説明をしてほしい。</p> <p>(2) 組織内分権によりマネジメント機能を強化すると発言しているが、どういう意味か。</p> <p>(3) 議会や市民に理解を得られていないことから見送りを判断したと言われているが、今後はどうやって理解を得るつもりか。また、理解を得られたと判断するのはどういう状態をいうのか。</p> <p>(4) 公約に基づく政策プロジェクトについては、職員の理解を得られているのか。</p> <p>(5) 今後、トップセールスも展開して行くものと思うが、信頼関係の構築についてどう考えているか。</p> <p>2 地域おこし協力隊等の活用について</p> <p>(1) これまで上越市に着任した地域おこし協力隊員は、中山間地域に居住する方や農業関係者が多い。この制度の活用に関し、上越市としての方針が確定しているのか。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊員を各地域自治区のまちづくり振興会等へ派遣して、住民とともにまちづくりや観光、商品開発等をしてもらってはどうか。</p> <p>(3) 企業人材派遣制度や地域プロジェクトマネージャー等も積極的に活用して、まちづくりと移住促進を図って行くことも必要ではないか。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
20	<p>1 閉館した旧公的施設のあり方について</p>
高山ゆう子	<p>(1) 市内大手町の一角には、閉館した旧女性サポートセンターと旧高田地区公民館、旧大手福祉館(たんぼぼ園)があるが、立入禁止ロープが張られ、何年間も放置されている。中心市街地で美観を損ねた状態であり、市民からも苦情や心配する声がある。解体を含めた今後の予定について聞きたい。</p> <p>2 地域協議会の今後のあり方と(仮称)地域独自の予算について</p> <p>(1) 令和4年4月に議会から提出された提言書に記載した地域協議会のあり方への提言について、市長及び担当課はどのように受け止めたのか。内容は市議会と市民の声でもあるが、きちんと取り入れて見直しや改善をしていく予定はあるか。</p> <p>(2) 地域協議会は、その地域の活性化を目指し、課題解決のために委員が自主的審議として話し合いをする場であり、それを成就するための手段の一つが(仮称)地域独自の予算であると思うが、地域協議会委員と地域の団体を含む提案者との関わりはどうか。また、(仮称)地域独自の予算の対象となる取組のあり方について改めて聞きたい。</p> <p>3 うみてらす名立について</p> <p>(1) 名立区は、海と山を兼ね備えた素晴らしい資源がある。現在、国道沿いに「うみてらす名立」が存在するが、開業から22年が経過し、建物の経年劣化や客層の変化も見られる。名立の魅力をいかした「道の駅」にすべく、今後の改修計画について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
21	<p>1 市長公約の「最先端のエネルギー制度」について</p>
丸 山 章	<p>(1) 公約では、原発再稼働は運営会社の信頼なくして再稼働はあり得ないとしているが、改めて、公約に対する見解を聞きたい。また、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関し、これまで、UPZ自治体が事前了解権を有する安全協定を結ぶことが必要との考え方を示しているが、今後、市長の強い意思を他自治体に先んじて示す考えがあるのか聞きたい。</p> <p>(2) 原発に代わる再生可能エネルギー(太陽光発電、小水力、バイオマス、雪氷冷却熱等)を進めるとしているが、今後のプロセス並びに、市長の任期を迎える令和7年度までに、どのような施策を講じて再生可能エネルギーの基礎固めを行う予定なのか。</p> <p>(3) 水素エネルギー、電気自動車の導入を進めるとしているが、行政、民間会社等の組織・団体だけに留めず、市民に普及させることが必要と考える。ついては、導入に当たって支援策が必要と考えるがいかがか。また、市長の任期を迎える令和7年度までに導入予定の分野はどの範囲までなのか。</p> <p>(4) 直江津港エリアは、天然ガスを中心としたエネルギーの拠点にするとしているが、既に直江津港はエネルギー、物流の拠点になっている。市長の考えているエネルギーの拠点とは、どのようなものか。あわせて、港湾管理者である県との協議は始まっているのか。</p> <p>(5) 国のSDGs未来都市制度の導入に取り組むとしているが、SDGsの目標達成に向けて、本市行政組織の各セクションにおいて、具体的にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 市長公約に対する政治責任等の認識並びに今後の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長就任から丸1年が経過し、いよいよ令和5年度予算に市長公約の一連の政策(施策)が組み込まれてくると期待したいが、今まで、私との質疑では、残念ながら市長公約が反故に等しい状況になっている。このことに対する政治責任、市民への説明責任の重要性についての認識を聞きたい。</p> <p>(2) 市長公約が、反故に等しい状況になっていることは、市民に対する背信行為になる。来年度以降、市民に約束した市長公約を改めて実行して行く決意があるのか否か、今後の政治姿勢について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
氏名	
22	<p>1 市指定の有料ごみ袋について</p> <p>(1) 市では、ごみの減量化を図るため、平成20年度からごみ処理の有料化制度を導入している。この取組で市民が負担した手数料は、分別排出に係る費用や廃棄物関係の各種施設の維持管理費等の財源に充てられているが、その制度による事業効果はどうか。</p> <p>(2) 有料レジ袋の代わりとして、レジで市指定のごみ袋を1枚単位で販売、購入できないかとの意見がある。市指定のごみ袋は、家庭からごみを排出する際の一度きりの使用の規格で製造しており、レジ袋など別の用途や再使用することは想定されていないとのことだが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 買い物時に、マイバックを使用するか市指定ごみ袋を使用するか、市民が選択できるようにすることで、よりごみの減量化と環境への配慮に繋がると考える。そのような取組を検討すべきではないか。</p> <p>イ 一度きりの使用の規格で無理があると言うのであれば、市指定ごみ袋を製造する設備の更新時期に合わせて、更に良質なごみ袋を製造できるようにすべきと考えるが、今後について聞きたい。</p>
渡邊 隆	
順位	質 問 事 項
氏名	
23	<p>1 中川市政の評価と今後の市政運営のあり方について</p> <p>(1) 市長就任から1年が経過したが、公約はどのように実現され、その成果をどう評価しているのか。</p> <p>(2) これからの市政の発展を目指すに当たり、強いリーダーシップが求められるが、どのようなビジョン(構想)を描いているのか。</p> <p>(3) 私との政策協定(公約)は、市長選挙時の極めて重要な約束事である。その上で、市民の信任を得て「市長になって」市政発展に取り組んでいるが、市民からは市政の発展につながっていないとの声が多く聞かれる。政策協定の「政策を実行しようとしなさい」ため、「応援したのに約束が違う」という市民の声に、私は大変困惑している。中にはチグハグな改革もどきの市政運営を見て、「市長職は無理だったのでは」との厳しいお叱りもたくさんいただいている。今後の市政をどのようにしようと考えているのか。</p> <p>(4) 市長は市長選挙の際に、「しがらみのない政治」と主張していたが、それはどういう意味なのか。今でもそのスタンスは変わらないのか。</p>
宮越 馨	

順位	質 問 事 項
氏名	
24	<p>1 雪対策について</p>
橋爪法一	<p>(1) このほど、県議会で、2021年1月の豪雪時、災害救助法対象となる除雪費支援の一部がいまだに認められていないことが確認された。当市との関わりの中で、どういう状況になっているのか聞きたい。</p> <p>(2) これまでも市議会で、災害救助法の適用について、豪雪地の現実を踏まえた対応をするよう国や県に働きかけを求めてきたが、令和4年7月に改定された国の災害救助事務取扱要領を市としてどのように評価しているか。</p> <p>(3) 中山間地域を中心に融雪屋根の維持に対する支援についてどう考えるか。</p> <p>(4) 要援護世帯除雪費助成事業については、助成額、多雪地域の設定について見直すことが約束されている。どうなったのか聞きたい。</p> <p>2 吉川区町田の町田古墳群について</p> <p>(1) 発見に至る経過、町田古墳群発見の意義について聞きたい。</p> <p>(2) 文化財調査審議会等での対応と今後の課題について聞きたい。</p>